

Topic

1 新製品MS 1 レンタル始動!!!

■ ~開発からレンタル開始まで~

「仮設と本設をひとつに」というコンセプトのもと新製品「MS1(=Mobile Space One)」を開発しました。仮設建築市場向けの既存製品(CT-J)の特徴である「高速施工・高リユース・高機能」に加えて、本建築市場のニーズに対応するため「品質向上・デザイン性向上」に取り組みました。

本製品の開発は2015年末より開始し、本体フレーム・階段及び各種オプションのラインナップを揃え、2016年6月より関東エリアにおいてレンタル運用をスタートしています。

本製品の最大の特徴として、全てのサイズラインナップでフレームの外形や固定金具の規格を共通にしていることが挙げられます。これにより、サイズの違うハウス同士で連棟が可能となり、案件規模の拡大化や間取りの複雑化にも対応できる製品となっています。

また、石油プラントなどの安全を特に重視する建設現場でも認められるような「燃えにくい」内装材の採用や、イベント向けに多様なオプションが取付可能な拡張性を組み込んだ設計などあらゆる点で開発を行いました。



その結果、2016年の夏にかけて都内のイベントで多くの引き合いがありました。2016年末には東京オリンピック関連の工事現場に事務所を提供し、ハウスだけではなくエアコン等の空調やトイレユニット等の給排水設備も含めて当社で請負いました。

製品としては、特許を4件出願し、実用新案は5件権利化しています。高いデザイン性が評価され、2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。

今後は対応エリアを拡大するとともに、さらなる改良と品質の向上に努めてまいります。

■ MS 1 施工例 晴海選手村作業所

晴海選手村作業所は三井住友建設の中で一番注目度が高いということもありMS1での設置となりました。ハウス規模が大きいこともあり他社(他2社)との競合となりましたが、当社の配電盤システム、給排水管ユニットをPRしたところ気に入っていただき、受注することができました。お客様からは、「ハウス内がとても明るく快適に仕事ができている」「FIXガラスを取付けたことで3階室内から現場が一望できずごく良い」などの声をいただいております。



Topic

2 ユニットハウス海外進出 ミャンマーに子会社を設立!

■ 2016年10月にミャンマー連邦共和国に現地法人 SANKYO FRONTIER MYANMAR CO., LTD. を設立しました。

SANKYO FRONTIER MYANMAR CO., LTD.の主な事業内容は、モバイルスペースや関連設備のレンタル、設置、メンテナンス、エージェントサービスとなっております。

既にミャンマーでもモバイルスペースが普及し始めております。現在、ミャンマーでは都市開発やインフラの整備など大規模開発が進んでおり、モバイルスペースの特徴であるスピード施工やモバイル性を活かして、ミャンマーの発展に貢献できるよう尽力してまいります。



学校施設



会社事務所



入社式